

# 御門徒紹介 PART3

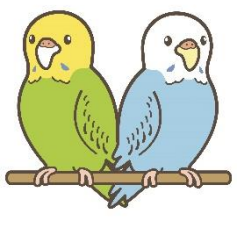
この度ご紹介するのは此花区にお住いの

**原田益治(はらだ ますはる)さん**

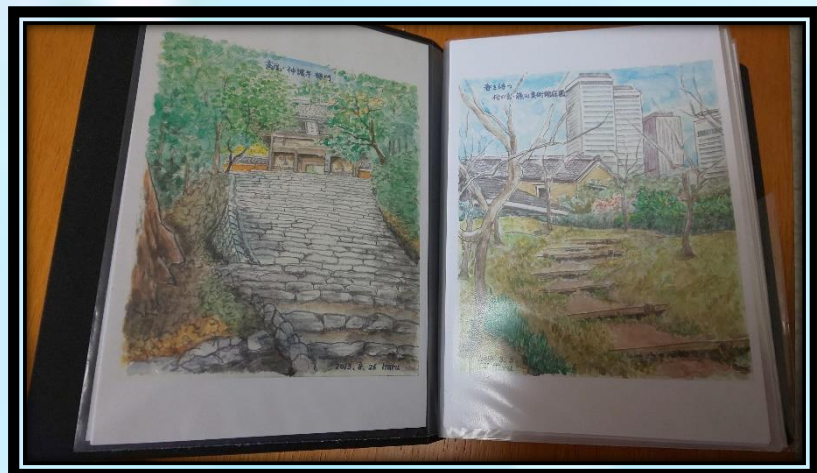
御年80歳の男性で、独学で水彩画を描かれている方です。

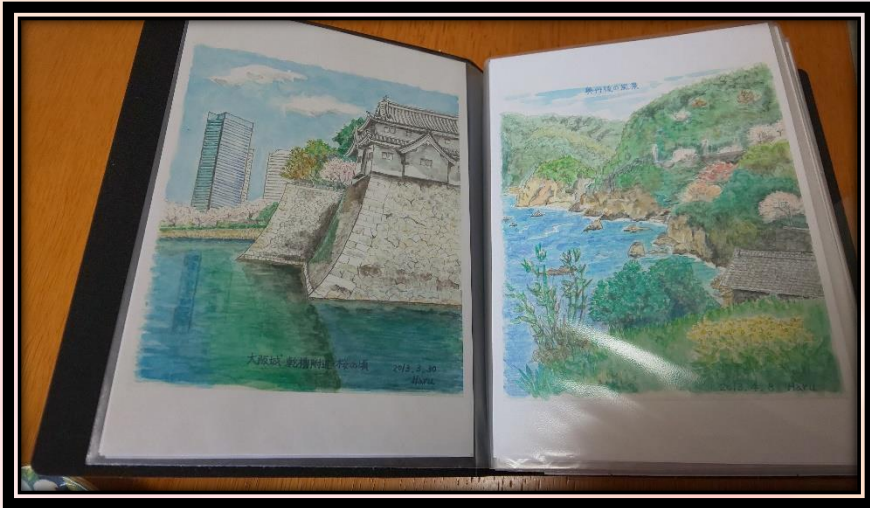


絵を描かれるようになったきっかけは、お仕事を辞められた時に、高校の同級生で結成された「山行き会」に誘われて参加。その際に景色をスケッチして、思い出とお礼を兼ねてメンバーにプレゼントされてからだそうです。



それから同級生や職場の方、お子さんに絵を褒めてもらったそうで、「褒めてもらうとうれしいもので、その気になって次々描くようになった気がします」と教えて下さいました。

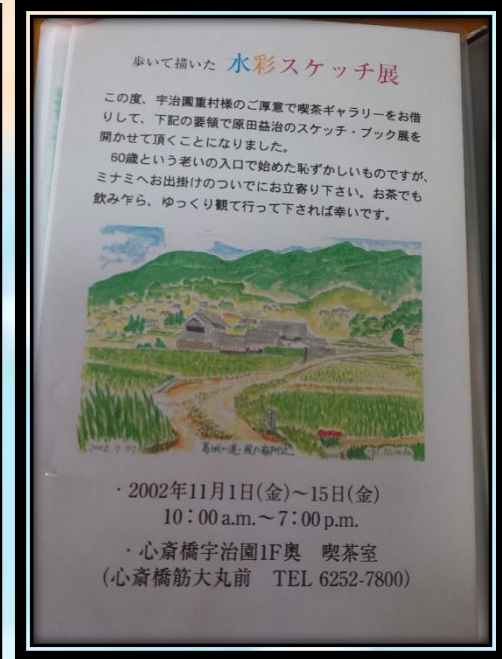




その後また仕事を始められてからは出張が多く、全国の訪れた先で仕事の合間に風景画を描かれています。

暫くして知人である心齋橋宇治園の重村さんに勧められて宇治園喫茶室にて2回個展を開かれました。

院主や若院も見に行かせていただきました。素敵な作品ばかりで沢山の方で賑わっていたそうです。



左の作品は、当時辛いことが続き、最愛の奥様も亡くし、落ち込んでいた気持ちが1年経って少し前向きになれた時に描かれたものだそうです。

原田さんもこの絵は思い出深いようで、左上にありますように、個展の案内の絵にも使われています。





ドライブ好きの御友人と一緒に2～3泊で旅行され、そちらでも沢山の作品を描かれています。遠いところでは鹿児島島の甕島へ。原田さんの行動力には驚かされます。

一人旅では国内に留まらず、海外もアジアやヨーロッパ等にも行って描かれています。上中央の絵はロンドンにて。



描きたい構図を決めたら、スケッチブックに鉛筆で下書きをして、その場で色付けまでします。大体小一時間で完成。

左上の携帯用の道具は娘さんからのプレゼントです。ずっとこれを大事に使われているそうです。

自宅に戻られてから左下の道具で仕上げます。

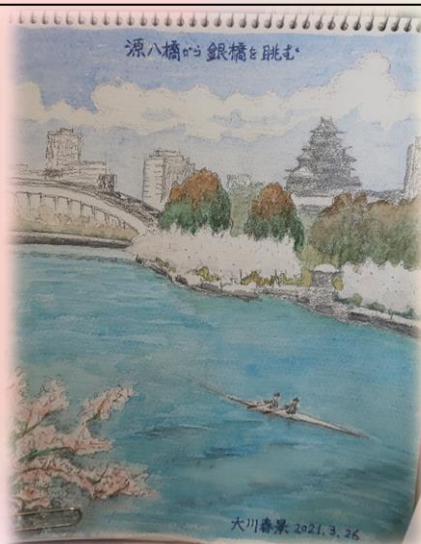


← 毎年自作のカレンダーを頂戴していました

## 取材時最新作品

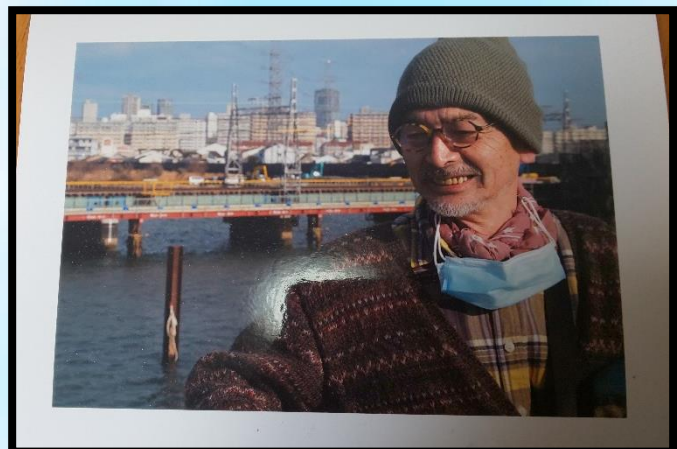


初期頃の作品



如水会会報投稿作品

今年の1月下旬に川沿いでスケッチをしている際にカメラマンに出会い、話をする内に原田さんを撮って下さり、後日お手紙と一緒に送って下さったそうです。自然で素敵な写真なので、写真をパシヤ！！載せさせていただきます。



お話をお伺いするのに楽しくって長居してしまいましたが、丁寧に絵のことを教えて下さいました。ご自身の辛かった時のお話はしたくないでしょうに、その頃のお話もして下さいました。何事に対しても努力家で、御友人や職場の方々をはじめ、行く先々で素敵なお縁に恵まれているのも原田さんの御人徳だと敬服致しました。絵のタッチも柔らかく原田さんのお人柄が作品から伝わってきます。これからも沢山の絵を描き続けていただきたいと思います。